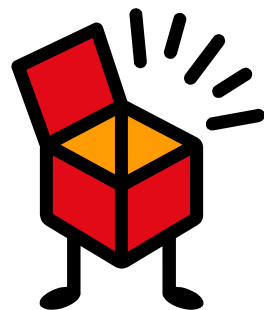


日立金属株式会社
2010年度第1四半期決算説明



Materials Mag!c

2010年7月27日

 日立金属株式会社
Hitachi Metals, Ltd.

<http://www.hitachi-metals.co.jp>

E-Mail : hmir@hitachi-metals.co.jp

10年度第1四半期(10/4-6)

■需要動向

- 自動車関連分野 : 実需ベースで回復、国内・海外とも堅調に推移
エレクトロニクス関連 : 液晶、半導体向けなど、アジアを中心とした旺盛な需要が継続、堅調に推移
産業インフラ分野 : 設備投資抑制の影響が残るものの、工作機械向けなど一部製品は急回復に転ずる

■売上高・営業利益

売上高 1,269億円 (09/4Q対比 103%) 営業利益 120億円 (09/4Q対比 +23億円)

⇒需要の堅調に支えられ、売上・利益ともに順調に推移

■セグメント別動向(売上高・営業利益)

- ・高級金属製品セグメント : 売上高 559億円 (09/4Q対比 102%)、営業利益 66億円 (09/4Q対比 +15億円)
⇒工具鋼は実需ベースで回復、液晶・半導体向けの金属材料も好調持続
- ・電子・情報部品セグメント : 売上高 330億円 (09/4Q対比 110%)、営業利益 46億円 (09/4Q対比 +15億円)
⇒マグネットはIT家電・自動車向けともに堅調に推移、情報部品も好調に推移。アモルファスも回復に転じ増加
- ・高級機能部品セグメント : 売上高 381億円 (09/4Q対比 93%)、営業利益 26億円 (09/4Q対比 +2億円)
⇒自動車用鋳物は国内・海外ともに堅調に推移したが、配管機器は国内の投資抑制の影響が続き減収となる

第2四半期以降の見方

- ・自動車・エレクトロニクス関連とも順調に推移しており、第2四半期も堅調の見込み。上期業績予想を引き上げる。
- ・一方、下半期・通期の業績予想については、下半期の事業環境に不透明感がでてきており、現時点で情勢を見極めることが困難なため、業績予想の見直しを行っていない。事業環境が見通せる状況になった時点で速やかに開示する。

連結業績要約

(単位:億円、()は前年同期比)

	2008年度				2009年度				2010年度			
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	年度 実績	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	年度 実績	1Q 実績	2Q 予想	上期 今回予想	上期当初 予想差異
売上高	1,756	1,781	3,537	5,907	925	1,028	1,953	4,317	1,269 (137%)	1,261 (123%)	2,530 (130%)	+100
営業利益	154	143	297	151	△45	10	△35	133	120 (+165)	80 (+70)	200 (+235)	+46
経常利益	174	123	297	102	△55	△6	△61	100	107 (+162)	67 (+73)	174 (+235)	+46
(特別損益)	△0	△0	0	△104	△1	△25	△27	△43	△0 (+1)	△1 (+24)	△1 (+26)	±0
税前利益	174	123	297	△2	△56	△31	△87	57	107 (+163)	66 (+97)	173 (+260)	+46
当期純利益	87	66	153	△30	△37	△20	△57	19	55 (+92)	35 (+55)	90 (+147)	+26
設備投資額	82	115	197	438	52	34	86	165	34 (△18)	76 (+42)	110 (+24)	±0
減価償却費	75	78	153	318	74	75	149	305	67 (△7)	73 (△2)	140 (△9)	±0
研究開発費	33	34	67	131	24	26	50	106	27 (+3)	38 (+12)	65 (+15)	±0

2010年度第1四半期業績概要(セグメント別)

売上高 1,269億円 09/4Q対比 103%

高級金属製品セグメント 559億円 (09/4Q対比 102%)
 電子・情報部品セグメント 330億円 (09/4Q対比 110%)
 高級機能部品セグメント 381億円 (09/4Q対比 93%)

* 最近の状況

■高級金属製品セグメント

特殊鋼の工具鋼は自動車・家電関連市場の好調に支えられ堅調に推移、電子金属材料は半導体・液晶向けともに好調持続。ロールは建築関連の需要に力強さがないものの、在庫調整が進み順調に推移。

■電子・情報部品セグメント

マグネットは、自動車、IT・家電向けともに堅調、FA向けも急回復し増加。情報部品は太陽光発電関連が順調に推移、情報通信関連部品も堅調。アモルファス(軟磁性材料)は、中国市場向けの需要が回復。

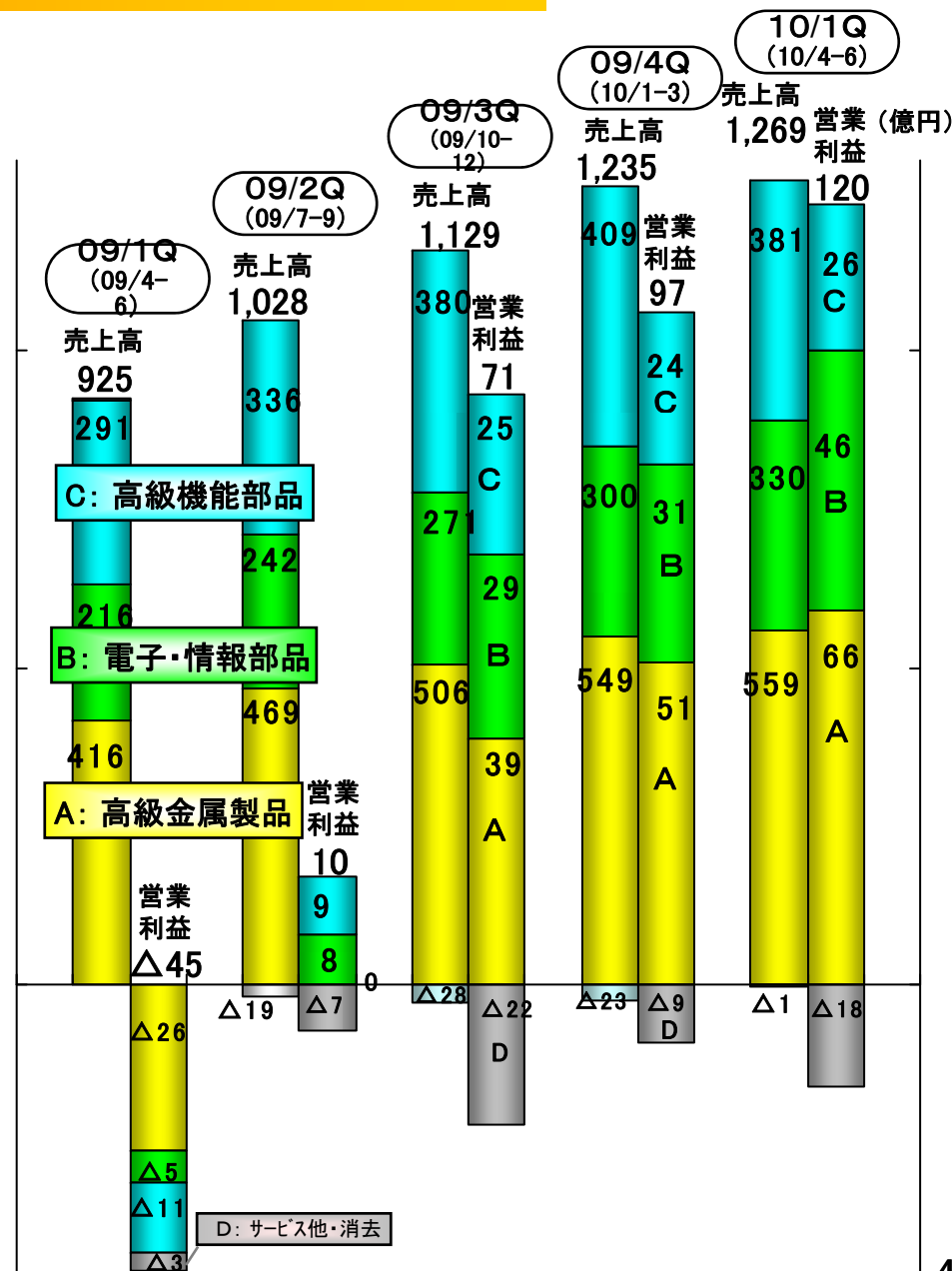
■高級機能部品セグメント

自動車用鋳物は、ダクタイル鋳鉄は米国・アジアともに好調に推移、ハーキュナイトは欧州向け需要が増加。アルミホイールは日米ともに好調持続。配管機器は設備投資抑制の影響が継続。

営業利益 120億円 09/4Q対比 23億円増

高級金属製品セグメント 66億円 (09/4Q対比 15億円増)
 電子・情報部品セグメント 46億円 (09/4Q対比 15億円増)
 高級機能部品セグメント 26億円 (09/4Q対比 2億円増)

需要堅調による操業益効果で09/4Qに対し全セグメントで増益。前年同期(09/1Q)対比では、165億円の改善となった。



2010年度第2四半期累計業績予想(セグメント別)

売上高 2,530億円 (従来予想対比 100億円増)

* 09/下対比 107%、09/上対比 130%

営業利益 200億円 (従来予想対比 46億円増)

* 09/下対比 32億円増、09/上対比 235億円増

■高級金属製品セグメント

売上高 1,110億円 (従来予想対比 25億円増)

* 09/下対比 105%、09/上対比 125%

営業利益 112億円 (従来予想対比 24億円増)

* 09/下対比 22億円増、09/上対比 138億円増

■電子・情報部品セグメント

売上高 670億円 (従来予想対比 40億円増)

* 09/下対比 117%、09/上対比 146%

営業利益 77億円 (従来予想対比 16億円増)

* 09/下対比 17億円増、09/上対比 74億円増

■高級機能部品セグメント

売上高 760億円 (従来予想対比 40億円増)

* 09/下対比 96%、09/上対比 121%

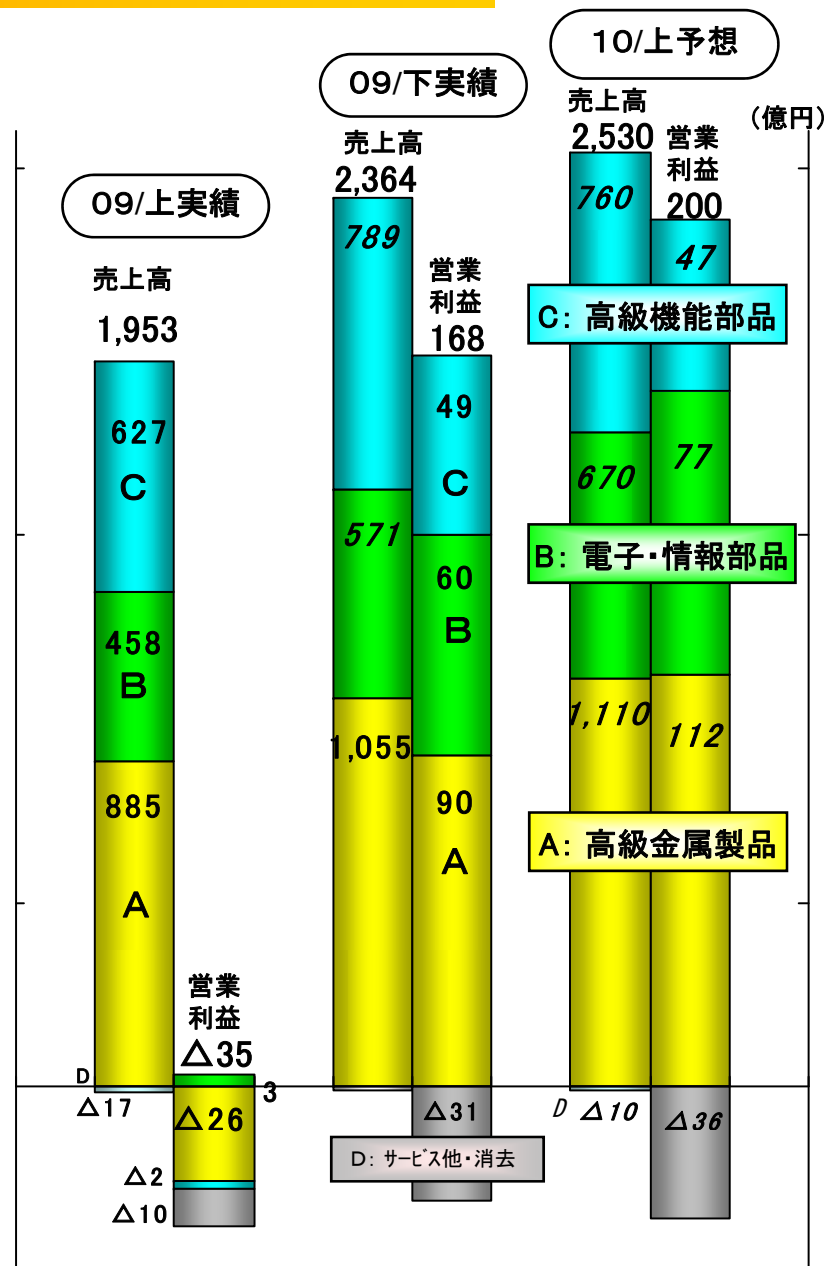
営業利益 47億円 (従来予想対比 7億円増)

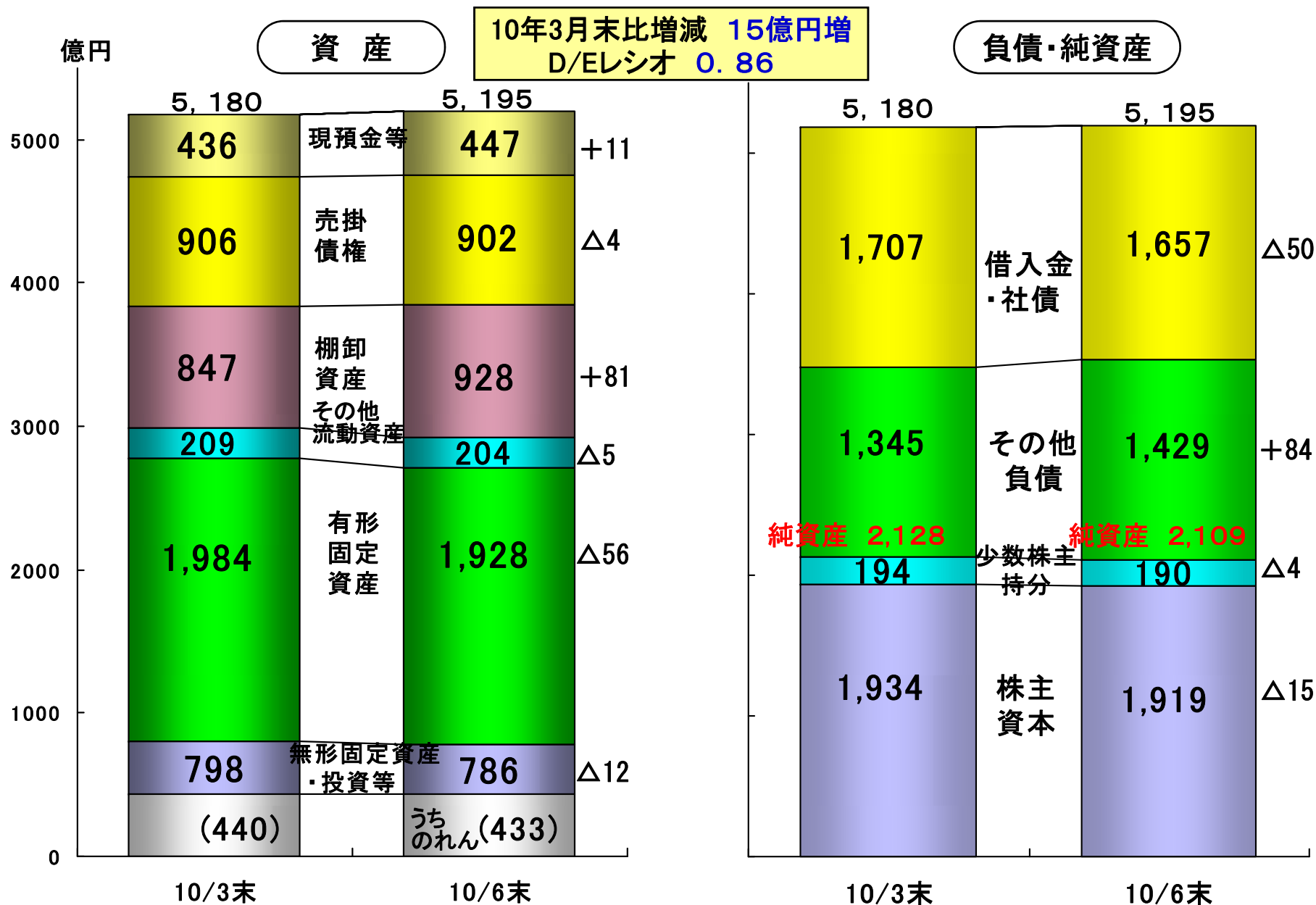
* 09/下対比 2億円減、09/上対比 49億円増

自動車・エレクトロニクス関連分野とも、第2四半期も

引き続き需要は堅調に推移する見込。

上期業績予想を引き上げる。





連結キャッシュ・フロー

(億円)

科 目	09年度 第1四半期	10年度 第1四半期
現金及び現金同等物期首残高	335	436
税金等調整前当期利益	△56	107
減価償却費	74	67
設備投資	△52	△34
その他	△15	△41
フリーキャッシュ・フロー	△49	99
借入金・社債の増減	55	△37
配当金支払他	△32	△29
ネットキャッシュ・フロー	△26	33
為替換算差額他	△1	△22
現金及び現金同等物期末残高	308	447

(注) 設備投資は検収ベース

(参考) セグメント別事業内容

事業セグメント	事業ユニット	主要製品
高級金属製品セグメント [2007年度実績] 売上高 2,924億円 営業利益 287億円 [2008年度実績] 売上高 2,650億円 営業利益 57億円 [2009年度実績] 売上高 1,940億円 営業利益 64億円	特殊鋼カンパニー	高級特殊鋼[YSSヤスキハガネ]: 金型・工具用材料、電子金属材料[ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料]、産業機器・エネルギー関連材料、剃刃材および刃物材
	ロールカンパニー	各種圧延用ロール(鉄鋼・非鉄・非金属)、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品
	日立ツール株式会社	切削工具
電子・情報部品セグメント [2007年度実績] 売上高 1,919億円 営業利益 203億円 [2008年度実績] 売上高 1,373億円 営業利益 93億円 [2009年度実績] 売上高 1,029億円 営業利益 63億円	NEOMAXカンパニー	マグネット(希土類磁石[NEOMAX®]・フェライト磁石等各種磁石およびその応用品)
	情報部品カンパニー	情報通信機器用部品(積層部品、アイソレータ)、IT機器用材料・部品、医療機器用材料・部品、ソフトフェライトコアおよびその応用品、ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット®]およびその応用品、アモルファス金属材料[Metglas®]およびその応用品
	軟磁性材料カンパニー	アモルファス金属材料[Metglas®]
高級機能部品セグメント [2007年度実績] 売上高 2,225億円 営業利益 162億円 [2008年度実績] 売上高 1,883億円 営業利益 42億円 [2009年度実績] 売上高 1,416億円 営業利益 47億円	自動車機器カンパニー	自動車用高級鋳物部品(排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®]、高級ダクタイル鋳鉄製品[HNM®])、アルミホイール[SCUBA®]、その他アルミニウム部品
	配管機器カンパニー	設備配管機器(®印各種管継手、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷却水供給装置、精密流体制御機器、密閉式膨張用タンク)
	日立機材株式会社	建築部材(内装システム、構造システム、マテハンシステム)



本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動